

豊田工業高等専門学校				特別活動（5学科共通）								開講年度		平成30年度（2018年度）													
学科到達目標																											
①高専生として主体的に学習する姿勢を培う。																											
②エンジニアとして社会でキャリアを積み上げていくための礎をつくる。																											
科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分				
						1年				2年				3年				4年						5年			
						前		後		前		後		前		後		前		後				前		後	
						1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q			1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
一般	必修	特別活動Ⅰ	00001	履修単位	1																	山口比砂, 京極俊明, 玉田沙織, 古澤大希, 森子					
一般	必修	特別活動Ⅱ	00002	履修単位	1																	長岡美晴, 三浦大和, 高村明加, 貴英藤, 水口陽子					
専門	必修	特別活動Ⅲ	00003	履修単位	1																	中村裕紀, 犬勝美塚, 仲野孝巧, 本嘉木, 鈴木健次					

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	特別活動 I
科目基礎情報						
科目番号	00001		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	活動		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	特別活動 (5学科共通)		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	1		
教科書/教材						
担当教員	山口 比砂,京極 俊明,玉田 沙織,吉澤 毅,大森 有希子					
到達目標						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要						
授業の進め方・方法						
注意点						
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	資料の配布 学生の自己紹介			
		2週	クラス役員決め			
		3週	学年集会：学生心得講座			
		4週	前学期目標設定 生活リズム点検			
		5週	寮祭の意義 科目の勉強室の紹介			
		6週	ネットコミュニケーションについて			
		7週	学年集会：中間試験について 学生相談室オリエンテーション			
		8週	中間試験の注意確認 合宿研修の活動班分け			
	2ndQ	9週	学年集会：合宿研修について 未来への手紙について 将来イメージ講座			
		10週	安全を誓う日についての背景説明 高専体育大会の意義			
		11週	前学期目標の振り返り 生活リズム点検			
		12週	クラス相互理解			
		13週	学年集会：定期試験について			
		14週	高専大会の報告			
		15週	定期試験の注意確認 環境整備			
		16週	夏休みの振り返り 後学期の準備と確認 体育祭の意義			
後期	3rdQ	1週	特別講演会：大切にしたい心とからだ			
		2週	避難訓練			
		3週	後学期目標設定 生活リズム点検			
		4週	キャリア教育支援：スキルアップ講座			
		5週	こうよう祭について			
		6週	外部単位申請について スキルアップ講座の振り返り			
		7週	学年集会			
		8週	中間試験に関する諸注意			
	4thQ	9週	後学期目標の振り返り 生活リズム点検			
		10週	学年集会：冬休みの過ごし方について			
		11週	冬休みの注意事項確認			
		12週	転科のスケジュールについて			
		13週	環境美化の意義 体調管理の重要性			
		14週	環境美化			

		15週	学年集会：定期試験について				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	前9	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前8,前9	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前8,前9	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	前9	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	前6	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	前6	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	前6	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	前11,後9	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	目標の実現に向けて計画ができる。	3	前4,前16,後3	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前11,前16,後9	
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前4,前11,後3,後9	
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前5,前8,前9,前16	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	前9	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	前3	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	前9	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	3	前9	
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	前9	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	前9	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	特別活動Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	00002			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	活動			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	特別活動 (5学科共通)			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	1		
教科書/教材							
担当教員	長岡 美晴,三浦 大和,高村 明,加藤 貴英,水口 陽子						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	クラス役員決め 前学期目標設定				
		2週	キャリア教育支援プログラム「目標設定・確認講座」 学年目標				
		3週	特別講演「インターネットの危険」				
		4週	こうよう祭クラス展について 「こころと体の健康調査」				
		5週	交通安全講習会				
		6週	学年集会：試験勉強のアドバイス				
		7週	生活リズム点検				
		8週	中間試験の諸注意				
	2ndQ	9週	前学期目標の振り返り チェックリストの振り返り				
		10週	安全を誓う日 高専体育大会壮行会				
		11週	キャリア教育支援プログラム：今の私・卒業後の私				
		12週	情報セキュリティ宣誓書				
		13週	夏休みの諸注意				
		14週	生活リズム点検 試験準備チェックリスト				
		15週	定期試験の諸注意				
		16週	前学期目標の反省 後学期目標の設定				
後期	3rdQ	1週	環境美化作業				
		2週	避難訓練				
		3週	第1回スキー説明会				
		4週	クラス展の準備				
		5週					
		6週	クラス展の反省				
		7週	生活リズム点検				
		8週	中間試験の諸注意				
	4thQ	9週	キャリア教育支援プログラム：人間力講演会				
		10週	後学期目標の振り返り 生活リズム点検				
		11週	冬休みの諸注意				
		12週	新年を迎えて				
		13週	生活リズム点検				
		14週	2月の予定について				
		15週	第2回スキー説明会				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	後4
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前1,後4
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前1,後4
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	後4
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	前3,前12
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	前3,前12
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	前3,前12
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	前9,後10
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	後4
				自らの考えで責任を持つものごとに取り組むことができる。	3	後4
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	前1,前16
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前9,前16,後10
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前7,前14,後10,後13
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前4,後3,後15
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	前4,後4
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	前2
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	後9
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	後9
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	後9
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	後9
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	後9

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	特別活動Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		00003		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		活動		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		特別活動（5学科共通）		対象学年		3	
開設期		通年		週時間数		1	
教科書/教材							
担当教員		中村 裕紀,犬塚 勝美,仲野 巧,松本 嘉孝,鈴木 健次					
到達目標							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週	キャリア教育支援：目標設定・確認講座				
		4週	Tファイルについて				
		5週					
		6週					
		7週	キャリア教育支援：社会が求める人材講演会				
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週	安全を誓う日 高専体育大会壮行会				
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週	夏休みの注意				
		16週	伝達事項				
後期	3rdQ	1週	アンケート				
		2週	避難訓練				
		3週	キャリア教育支援：キャリアプランニング				
		4週					
		5週					
		6週	同窓会講演会				
		7週					
		8週					
	4thQ	9週	キャリア教育支援：今の私・卒業後の私				
		10週					
		11週	キャリア教育支援：今の私・卒業後の私				
		12週	冬休みの注意				
		13週					
		14週	キャリア教育支援：しごとガイダンス				
		15週	定期試験について				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
分野横断的 能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。		3	前4
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。		3	前4,後3
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。		3	前3,前4
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。		3	前7

			これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	前7
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	後6
			企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	後9
			企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	後9
			企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	後9
			企業には社会的責任があることを認識している。	3	後9
			企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているかを説明できる。	3	後9
			調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	後9
			企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	後9
			社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	前7
			技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	前7
			技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	前7
			高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	3	後6
			企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	後6
			コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	後6

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0